



わが家のアイドル

大賀茂にお住まいの
鈴木 克弘さん・君子さんの

長男 優斗くん (2歳4か月)

泣き虫な僕だけど、ボール遊びが
大好きで元気いっぱいです!!



市指定無形民俗文化財

下田市内の指定文化財

その54

鬼射

所在地 落合高根神社

指定日 昭和51年5月27日

落合高根神社



落合高根神社

落合を開いたのは尾張の住人である長田庄司忠致の三男と伝えられ、落合高根神社に伝わる応永9年(1402)の棟札には落合住人左近三郎重廣がこの地に高根大明神を造作したと記されています。祭神は白山姫命でかつては稲穂村の村社でした。

鬼射

落合高根神社に伝わる「鬼射」は毎年2月11日、神社境内の矢場で大勢の氏子や近隣からの見学者が見守る中、厳

かに執り行われます。

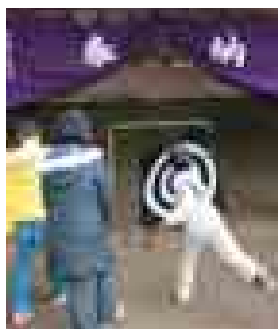
鬼射の由来について地元では永正17年(1520)高根神社春の例祭で奉納されたのが始まりと伝えられています。詳しいことはわかりませんが、記録が残っていないためおよそ500年ほど前から氏子によって災厄除けや五穀豊穡、村内安全を祈願して行われるようになったものと思われれます。

鬼射の行事は弓太郎・役者・酌取の三役を中心に進められます。弓太郎は世話役で氏子総代(区長)が務め、役者は射手、酌取は介添え役で、おのおの氏子2名が務めます。前日から身を清め、浜垢離をして当日を迎えます。祭典当日は袴姿で腰に小刀を差した役者2名が作法に則り約28メートル離れた的に向け2人が1回につき2本ずつ交互に3



役者が力強く弓を引く

回、合計12本の矢を放ちます。見事的に射通せばその年の災厄(鬼)は退散し、五穀豊穡が約束されると伝えられています。的は直径約1メートルで黒く三重丸に塗られ、裏側には「鬼」と大きく書いてあります。射終わると氏子の子供たちが的の周りに集まり一斉に石を的に投げつけ鬼を退散させます。その後、三三九度の杯を終了して、鬼射の行事は終わります。



石を投げつけ鬼を退散

当日境内では、魔よけのお守りとして直径15センチほどの小さなのレプリカが配られたり、甘酒や御符、白おこわが見学者に振舞われお祭りを盛り上げます。

(市文化財保護審議委員藤井) アクセス

下田駅より松崎行きバス 落合バス停下車

問合せ先

教育委員会生涯学習課

☎ 25055

